

# 親切運動の取組について

学校名 南砺市立福光東部小学校

児童数 231名

## 1 親切運動の取組の紹介

### (1) ボランティアデー

例年、図書・ボランティア委員会が中心となり、毎月10日、11日にアルミ缶と牛乳パックを回収している。今年度のボランティアデーの目的は、前年度に引き続き「ありがとうがいっぱいの学校にしよう」と決まった。アルミ缶等を持ってきた子供たちに「ありがとう」と伝えることを意識して活動した。去年よりも多くの子供に協力してもらえるように、持ってきた人をシールで確認したり、集まったアルミ缶と牛乳パックを数え、給食時に放送で呼びかけたりした。学校全体を通して、活動に協力してくれる子供が徐々に増えてきた。



### (2) 挨拶運動

1年を通して、企画委員会と6年生が中心となり、明るい挨拶ができる学校を目指して、挨拶運動を行った。時には地域の方と一緒にいった。毎日多くの子供がきちんとした挨拶ができるように、企画委員会が集会で正しい挨拶の仕方を見せたり、放送で正しい挨拶ができていた人を紹介したりするなどした。最初は、声が小さかったり、歩きながらしたりする人が多かったが、徐々に立ち止まって大きな声で挨拶をする人が増えた。学校の伝統として6年生も大切にしていきたいとしている挨拶をこれからも全校で継続して取り組んでいきたい。



### (3) 共同募金活動

図書・ボランティア委員会で、ボランティアデーと同様、ありがとうがいっぱいの学校を目指して、12月に共同募金運動を行った。募金する前にお昼の放送やお知らせを通して、募金することでどのようなよさがあるかを各学級に伝えた上で、家庭で集める募金箱を配付した。回収日には、多くの子供たちが募金を持ってきていた。委員会の子供たちは、「みんながたくさん持ってきてくれて本当に嬉しい。また来年も続けてやりたい」と話していた。



## 2 親切運動に取り組んで

図書・ボランティア委員会や6年生が中心となって活動したことで、多くの子供たちが「親切にすること」について関心をもつことができ、相手のことをよく考え、思いやりのある行動をとるようになってきた。しかし、活動が終わったり、誰も見ていなかったりすると挨拶が暗くなったり、よくない言葉遣いで話したりする子供もいるという実態もある。そのため、子供たちのよい習慣となるよう、日頃から感謝の気持ちを大切にし、親切な行いを考え、進んで行動できるための活動を今後も続けていきたい。